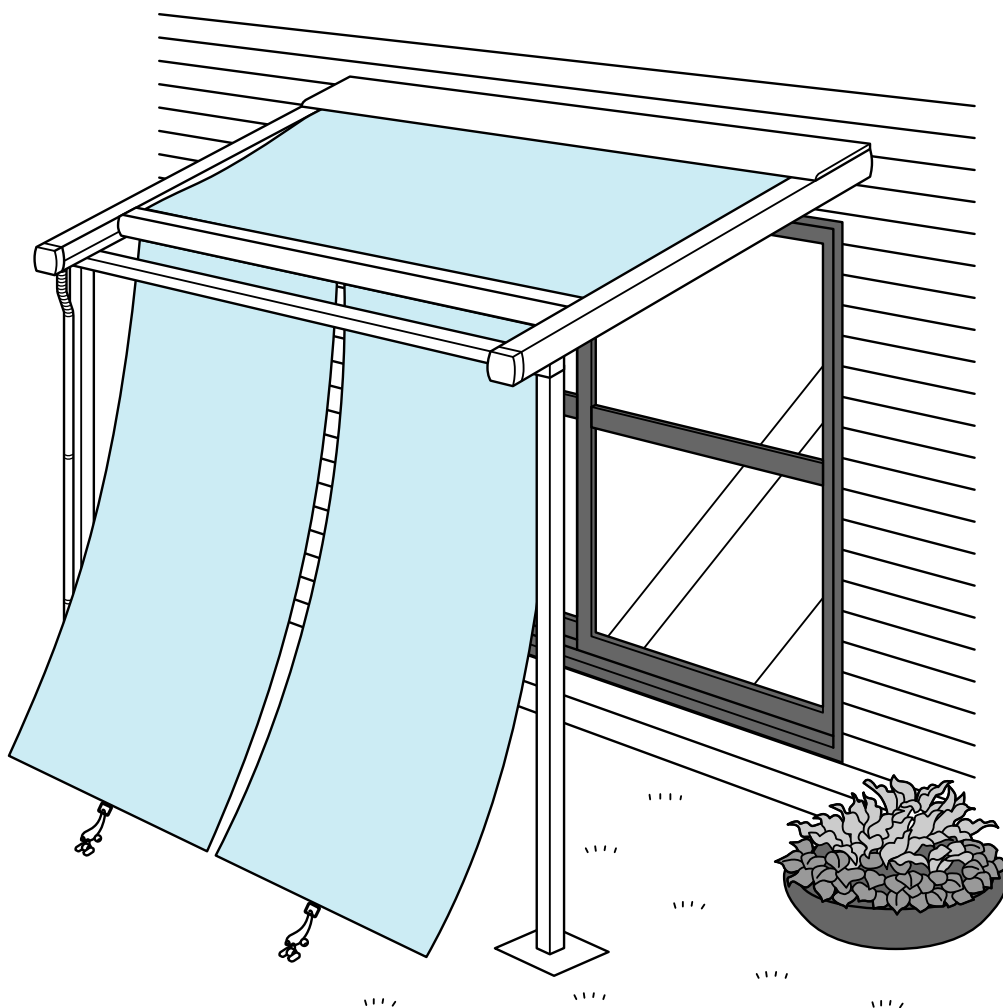


可動式テラス 気象鳥

取扱い説明書



ご使用にあたって

- この取扱い説明書を読んで理解するまでは「気象鳥」のご使用およびお手入れを行わないでください。
- この取扱い説明書は、ご使用中にご不明な点や、お手入れの方法などをいつでも調べられるよう大切に保存してください。

目 次

■ 重要なお知らせ	1
■ 安全について	1
■ 安全のため特に注意していただきたいこと	2～5
注 意	2・3
お願い	4・5
■ 構成図	6
■ 操作方法	7～10
1. メインスクリーンの操作方法	7・8
2. 前面スクリーンの操作方法	9・10
■ お手入れ方法	11
1. 商品の点検	11
2. 商品のお手入れ	11
■ 商品保証について	12

重要なお知らせ

ご使用の前に

●安全のために、必ずお守りください。

「気象鳥」をご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書にしたがってください。

もしこの取扱い説明書にしたがわず乱用又は誤用によって、ケガおよび損害が発生した場合は、トステム株式会社およびその販売会社に責任はないものといたします。

- 1.この取扱い説明書に記載してある注意事項が、すべての危険を含んでいるわけではありません。したがって、「気象鳥」のご使用およびお手入れを行う場合は、この取扱い説明書の記載してある事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
- 2.この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。
- 3.商品のお問合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

問合わせ事項	連絡先窓口
商品全般	お買い求めの工務店・販売店又はトステム（株）営業所

安全について

※この章では、「気象鳥」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

警告用語の種類と意味

●この取扱い説明書では、危険度の高さ（又は事故の大きさ）にしたがって、次の2段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容（指示）にしたがってください。

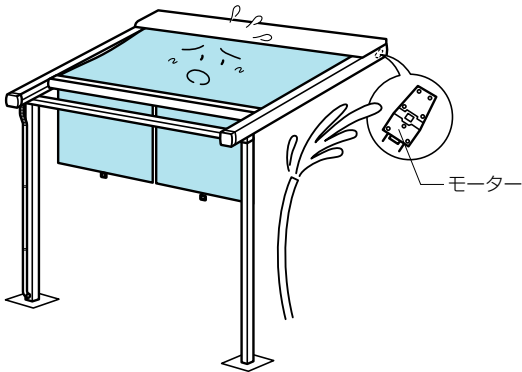
警告用語	意 味
⚠ 注 意	取扱いを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
お 願 い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示にしたがわないと機器の損傷・故障などにつながる場合に用います。

安全のため特に注意していただきたいこと

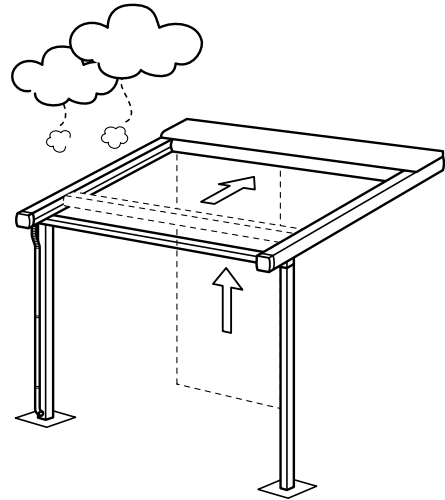
(安全のため、必ずお守りください)

⚠ 注 意

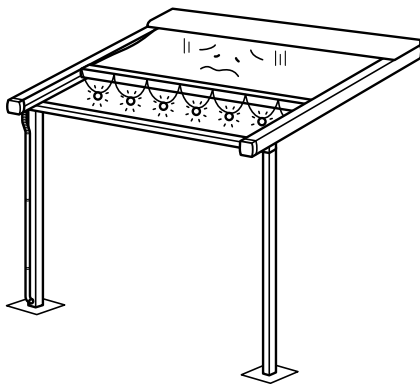
- 電動の場合、モーターやスイッチなど電気関連部分に水をかけないでください。感電・漏電のおそれがあります。



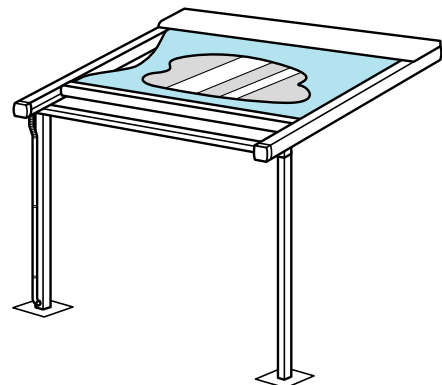
- 積雪が予想される場合は、スクリーンを巻取っておいてください。落下・破損のおそれがあります。



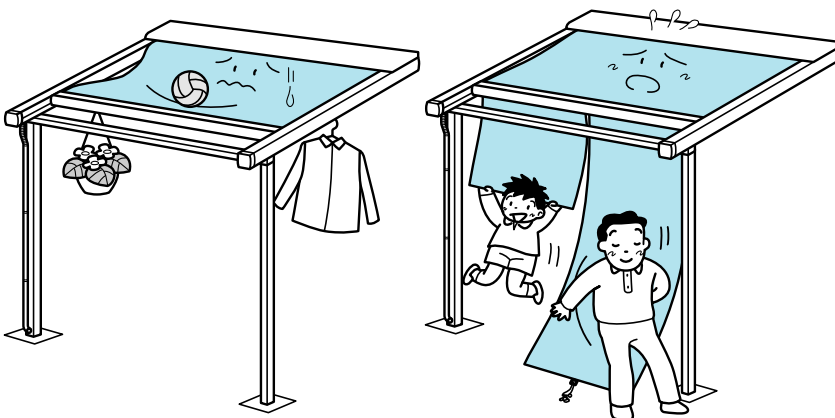
- 製品に電気コードを巻付けないでください。感電・漏電のおそれがあります。



- スクリーンがたるみ、水がたまる場合は、必ず購入先に連絡して直してもらってください。多量の水がたまると製品が落下するおそれがあります。

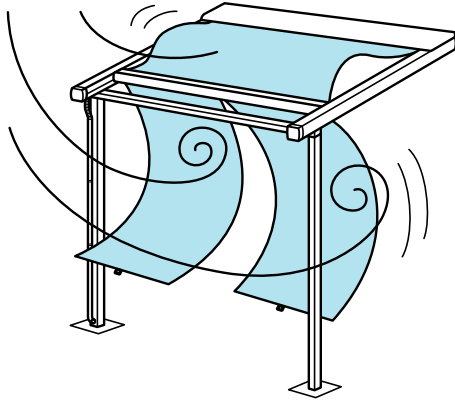


- ボトムやスクリーンにもものをぶらさげたり荷重をかけたりしないでください。落下・破損のおそれがあります。



▲ 注 意

- 強風 (10m/s以上) のとき又は、強風・突風が予想されるときは、スクリーンを巻取ってください。あおられて破損のおそれがあります。

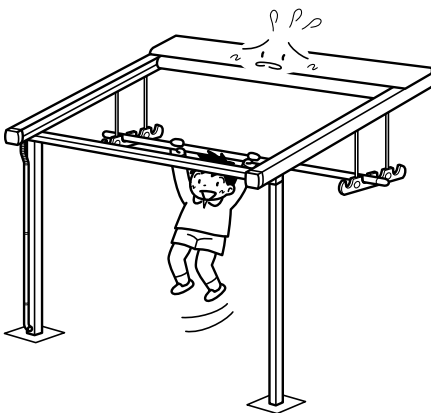


■ 地上における風速の目安

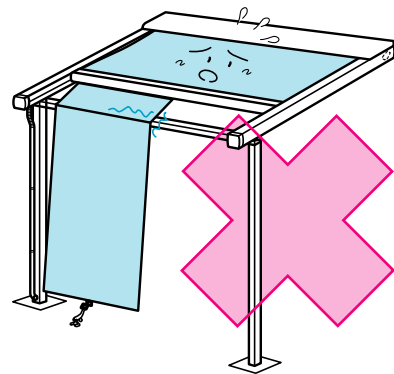
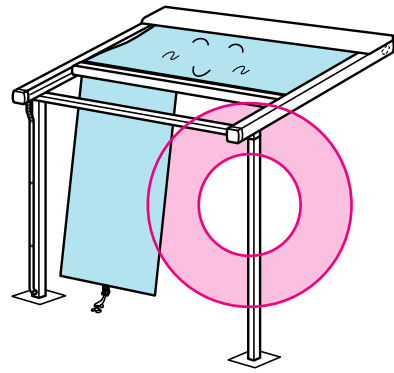
※突風の目安ではありません。

風圧 (m/秒)	現 象
8	葉のある低木がゆれはじめる。池や沼の水面に波頭が立つ。
10	大枝が動く。電線が鳴る。かさがさしにくい。
13	樹木全体がゆれる。風に向っては歩きにくい。
15	小枝が折れる。風に向っては歩けない。(小型台風)

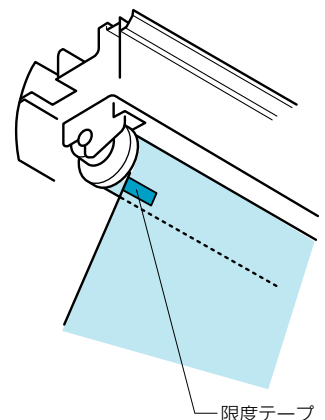
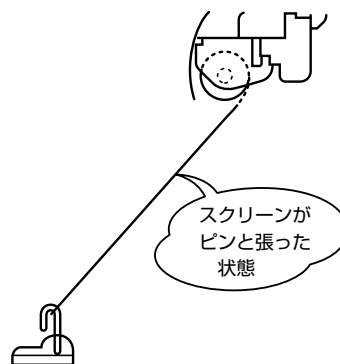
- 物干しを使う場合、15kg以上の物を干したり物干し竿にぶら下がったりしないでください。



- 下図のように、桁を介した前面スクリーンの固定は、製品破損につながりますのでしないでください。
※センサー付きの場合は、前面スクリーンの取付けはしないでください。

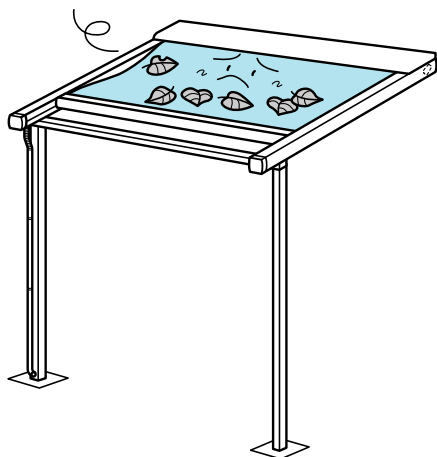


- 前面スクリーンの固定は、ピンと張った状態で限度テープが見えない範囲内で行ってください。範囲外で行った場合製品破損につながります。

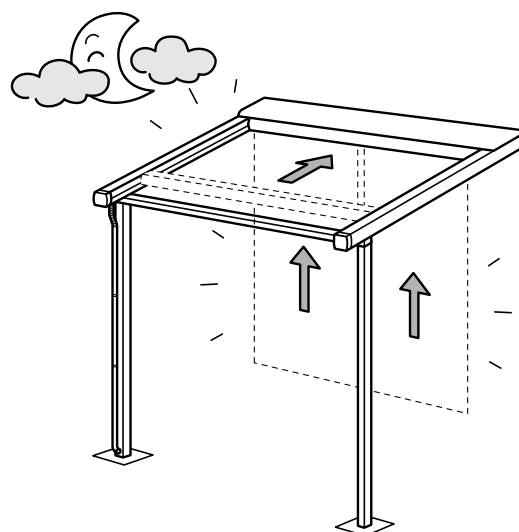


お願い

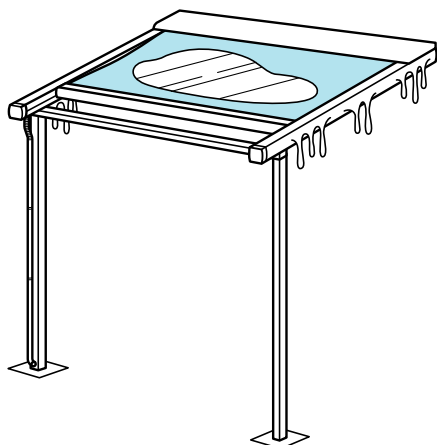
※雪や落ち葉などがメインスクリーンの上に積もってしまった場合は、必ず取除いてから巻取ってください。故障の原因になります。



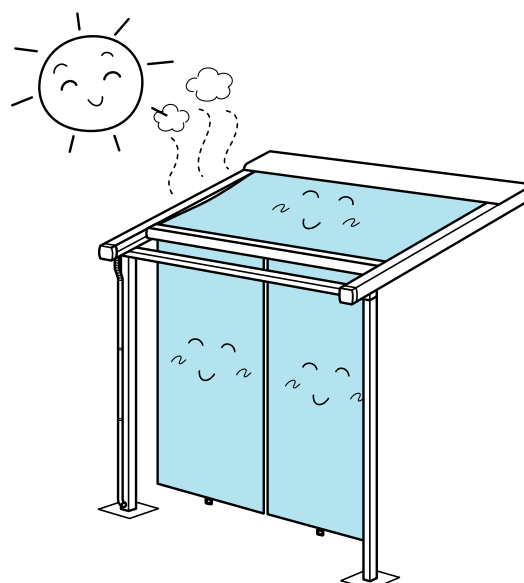
※夜間や留守の場合は、必ずスクリーンを巻取っておいてください。



※雨や雪・結露など、製品に付着した水分が凍結している場合は、溶けるまで操作しないでください。故障の原因になります。



※雨などでスクリーンが濡れた場合は、天気の良い日に開いて乾かしてください。カビの発生や汚れの原因になります。



お願い

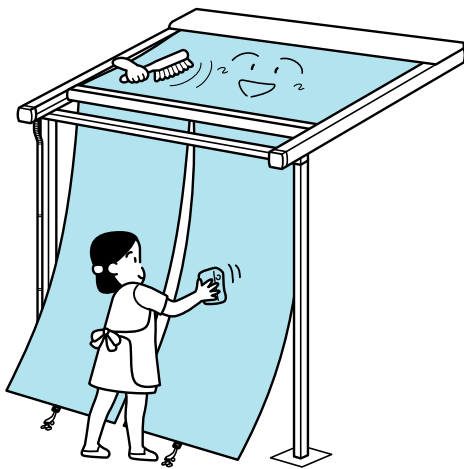
※ボルト・ナット・ねじなどは、絶対に緩めないでください。

※当社指定の付属品以外は取付けないでください。

※スクリーンは、こまめにお手入れしてください。

汚れがひどいと生地が老化が早くなります。

又、スクリーンは、3～5年を目安に交換することをお勧めします。

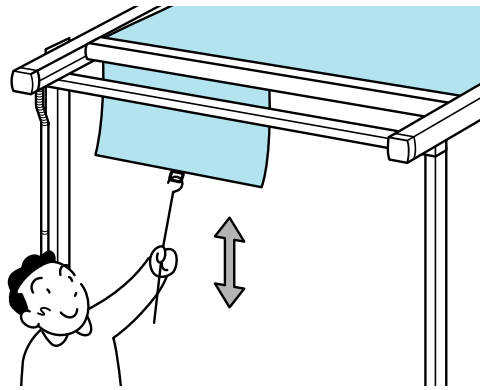


※前面スクリーンの開閉操作はスクリーンハンドルにフック棒を引っ掛け、スクリーンが水平になるように、ゆっくり行ってください。

斜めに行うと、スクリーンの巻乱れが生じ生地の消耗につながります。

巻乱れが生じた場合は、いったん引出し、再度巻取ってください。

又、スクリーンのテンションがかかった状態で、フック棒をはずすと勢いよく巻上がり、製品破損につながりますのでしないでください。

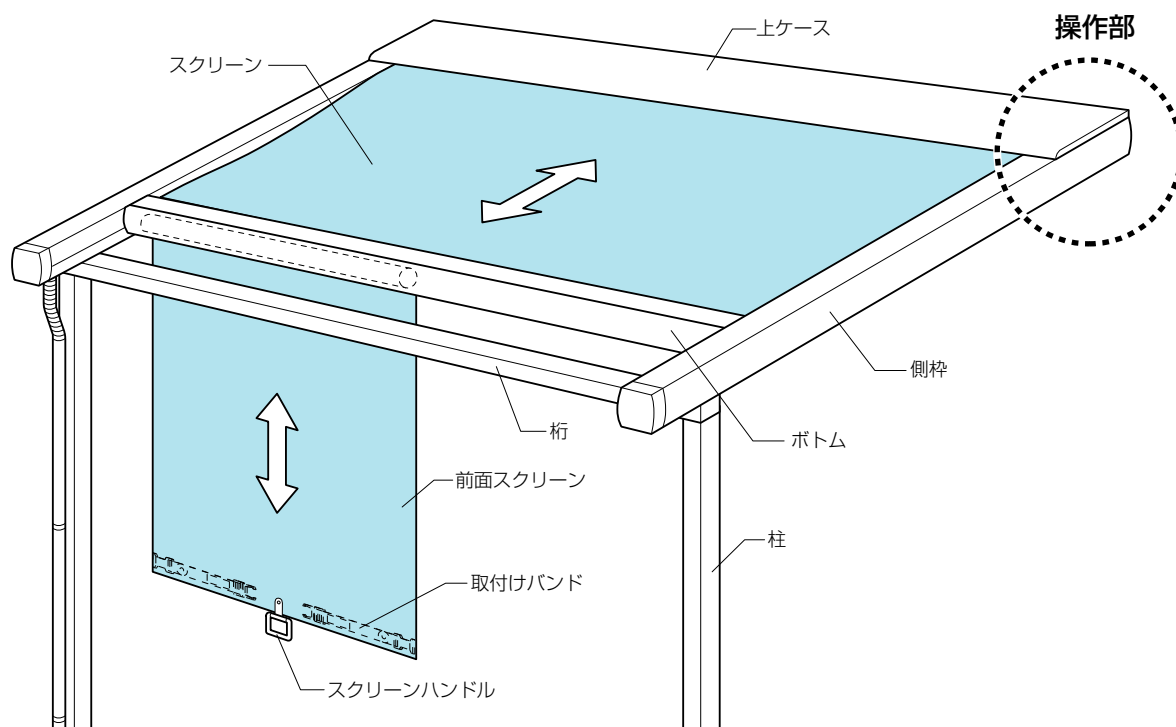


※スクリーンを折り曲げた状態で強く押しつけないでください。

折りじわの原因となります。

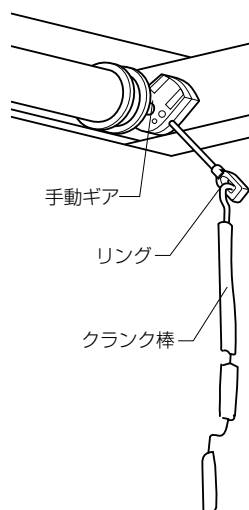
構成図

■全体構成図

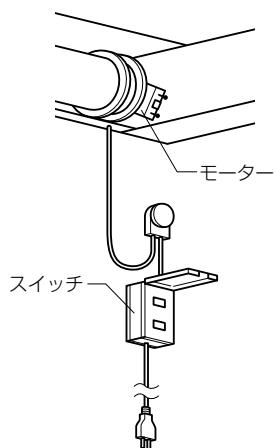


■操作部

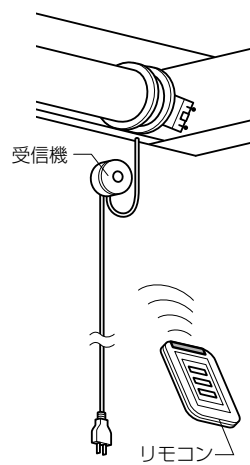
●手 動



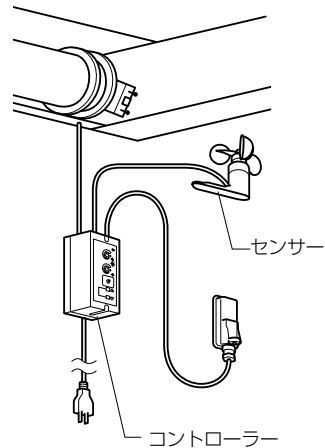
●電 動



●リモコン



●センサー



操作方法

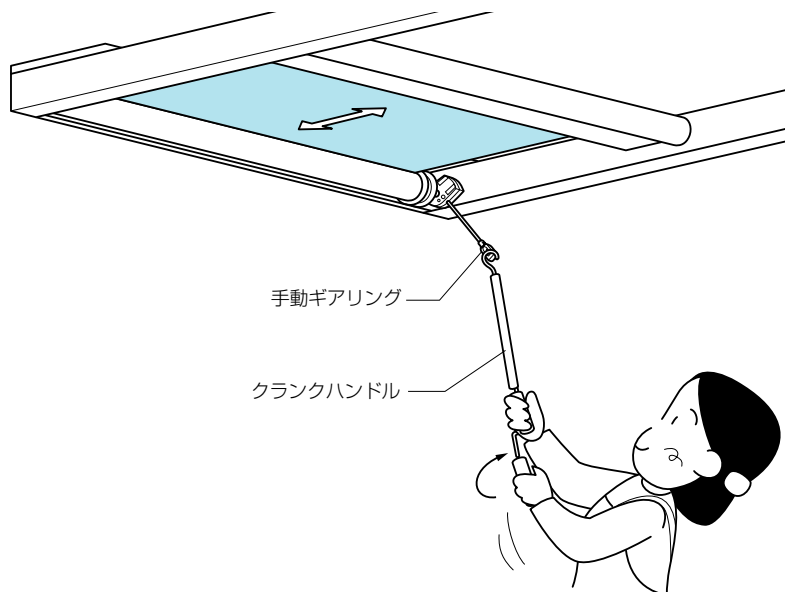
1

メインスクリーンの操作方法

■手動タイプ

- クラंकハンドルのフックを手動ギアのリングに引っ掛け、手回しで開閉します。

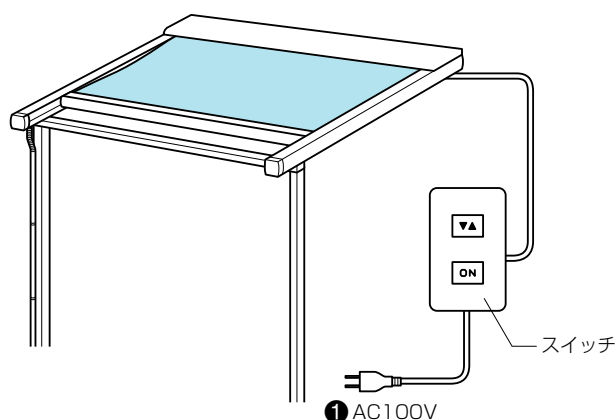
※クラंकハンドルの長さは標準150cmですが、他に100cm・170cm・225cmも用意しています。
※スクリーンを全開せず途中で止めたままでも使用できます。



■電動タイプ

※電動タイプには、スイッチタイプ(標準)・リモコンタイプ・センサータイプがあります。
※センサータイプの操作方法是、センサーセット内の説明書をご覧ください。

- ①電源プラグを、AC100Vコンセントに差し込みます。
(AC100Vコンセント以外には差し込まないでください。)
屋内配線と結線されている場合は、ブレーカーをONにします。
- ※連続開閉は、なるべくさけてください。
5分以上連続開閉すると、モーターの安全装置が働き、開閉途中でも止まります。
この場合は15分ほど休ませると再び動かせます。

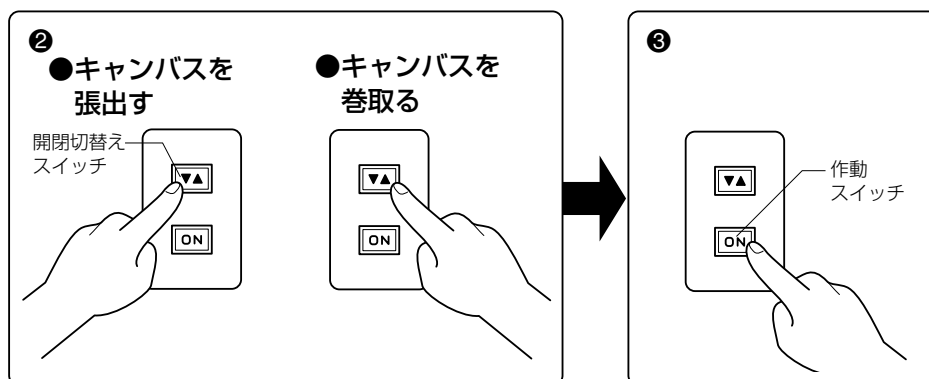


【スイッチタイプ(標準)】

- ②開閉切替えスイッチの▲又は▼を押します。

▼…キャンバスを張出す
▲…キャンバスを巻取る

- ③作動スイッチを押します。
押している間だけモーターが作動し、開閉します。手を離すと止まります。



【リモコンタイプ】

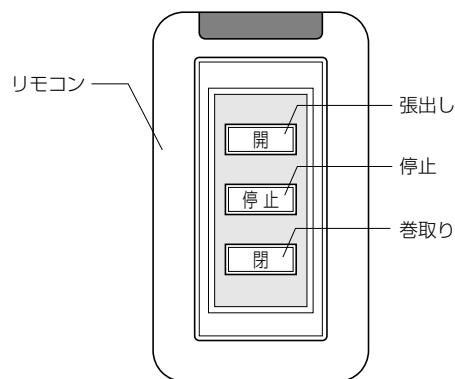
●リモコン

①リモコンを受信器に向け、スイッチを押します。

開 ……キャンバスを張出す

閉 ……キャンバスを巻取る

停止 ……途中停止する



※リモコンに単4マンガン乾電池2本をセットしてください。

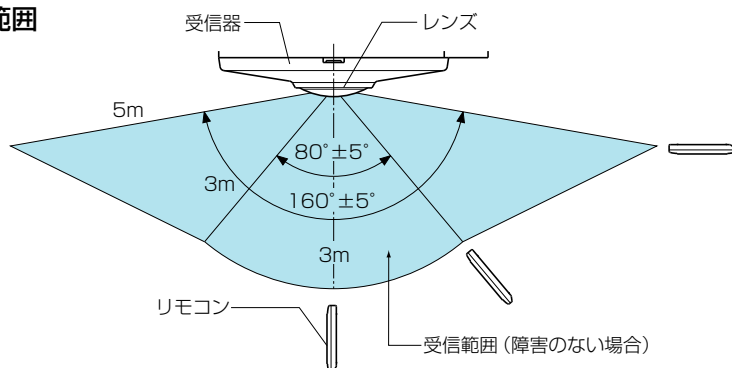
(付属の電池はお試用です。新しい電池をご使用ください。)

※受信器の受信範囲でご使用ください。

※長期間ご使用にならない場合は、リモコンから乾電池を抜いてください。

●消費電力(電動タイプ) 180W (ワット)

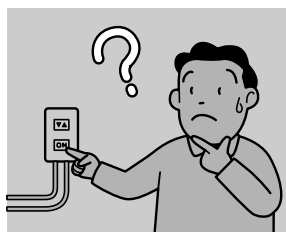
●受信範囲



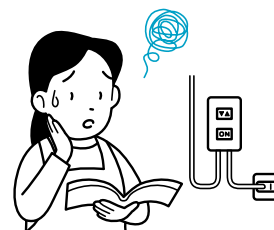
■製品が動かない場合

●停電ではありませんか？

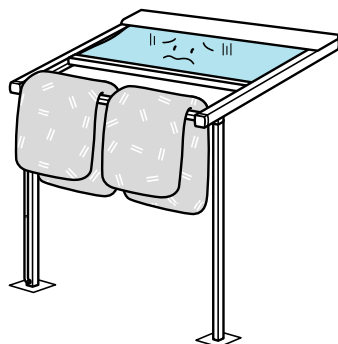
※電源プラグが外れていませんか？
リモコンの電池切れではありませんか？



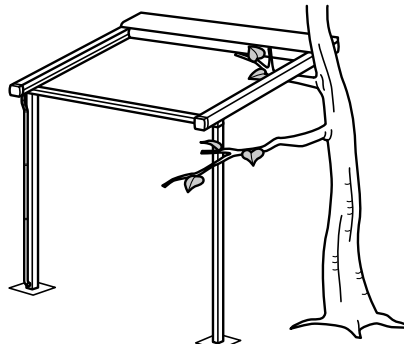
●開閉切替えスイッチを正しく操作していますか？



●キャンバスが張出す範囲に障害物などありませんか？

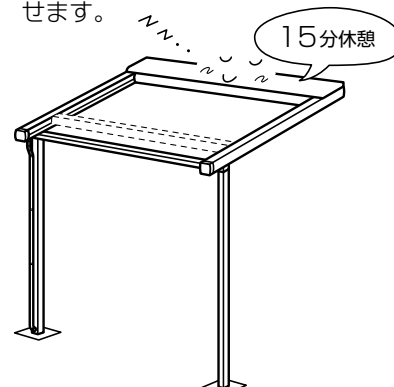


●キャンバスの巻取り部分に物がはさまっていませんか？



●5分以上連続開閉しませんでしたか？

※15分ほど休ませると再び動かします。

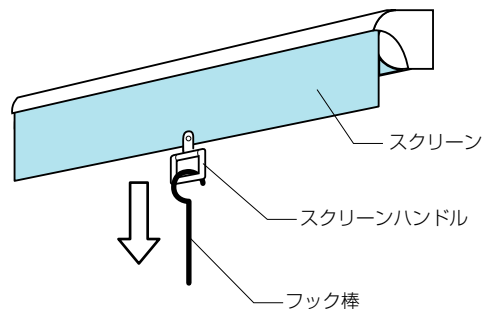


2

前面スクリーンの操作方法

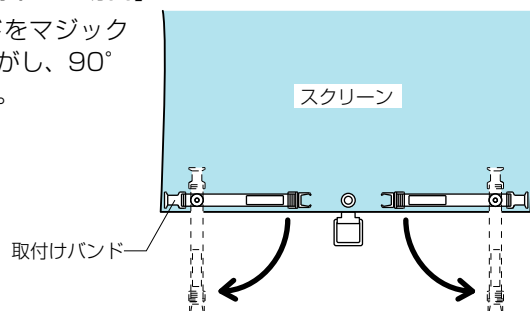
■スクリーンを下ろすとき

- ①スクリーンハンドルにフック棒を引っ掛けスクリーンを引出します。
- ②引出したい位置まで引出したら、少し戻すと巻上げテンションが解除されます。
(少し又引出すと、巻上げテンションが復活します。)

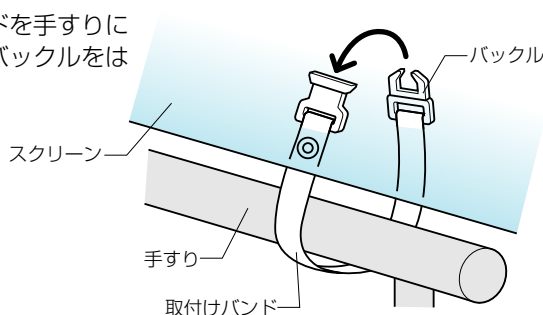


【手すりに引っ掛ける場合】

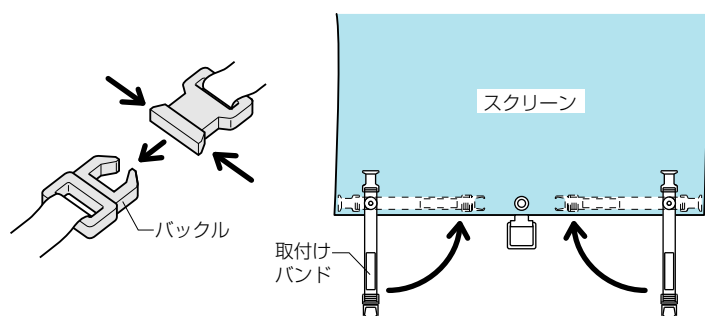
- ③取付けバンドをマジックテープからはがし、90°回転させます。



- ④取付けバンドを手すりに引っ掛け、バックルをはめ込みます。

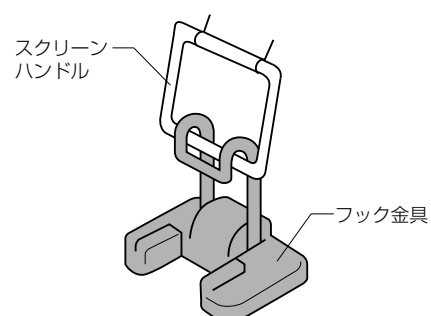


- ⑤はずすときは、バックルの両端を押し、又90°反転してマジックテープに張付けます。

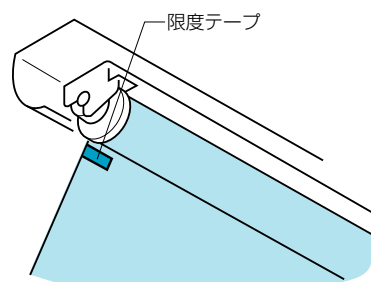


【フック金具に引っ掛ける場合】

- ③フック金具のフックを起こし、スクリーンハンドルを引っ掛けます。

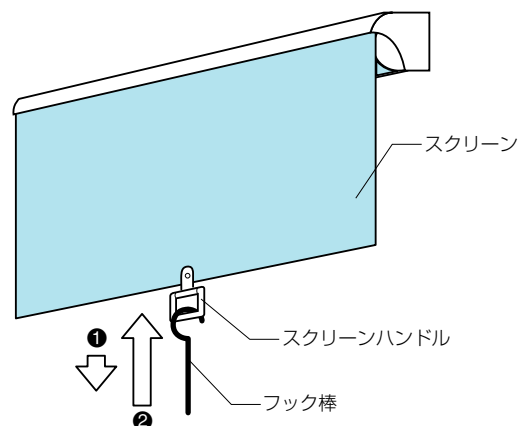


- 生地をピンと張った状態で限度テープが見えた場合は、見えない範囲に固定し直してください。



■スクリーンをあげるとき

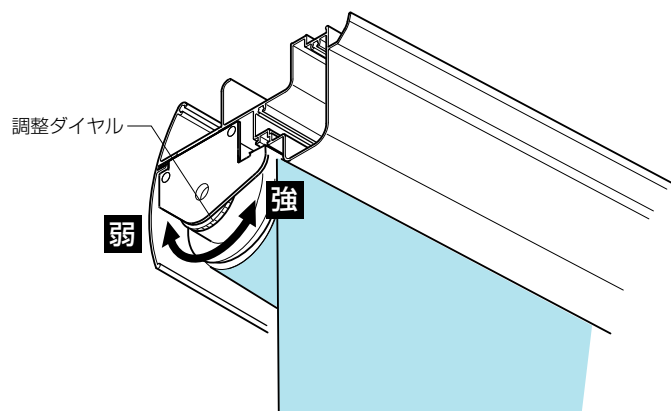
- ①手すり、フック金具から、スクリーンを外します。
- ②スクリーンハンドルにフック棒を引っ掛けます。
- ③スクリーンを少し引出し、巻上げテンションを復活させると、巻上がります。
- ④フック棒を持って、ゆっくりスクリーンを巻上げます。



■巻上げテンションの調整

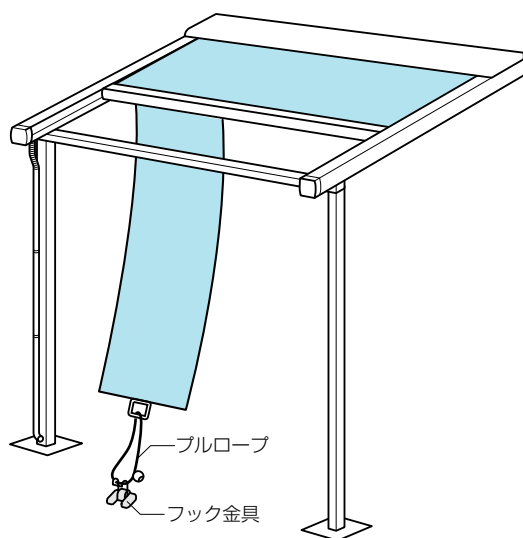
※巻上げテンションを調整する場合は、調整ダイヤルを回します。

「強」方向→巻上げ力が強くなります。
「弱」方向→巻上げ力が弱くなります。

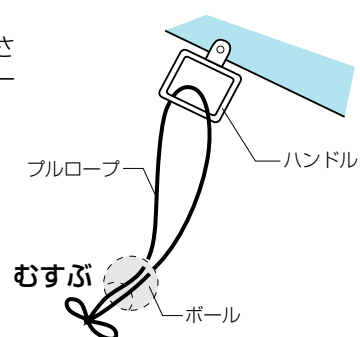


■プルロープを使う場合

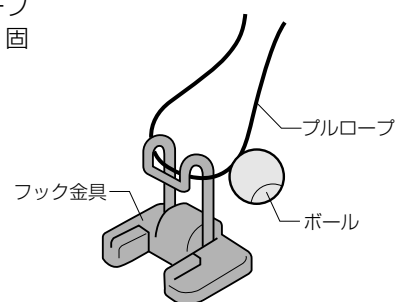
※土間仕様などで、スクリーンを途中で止めて固定したい場合は、プルロープを使用します。



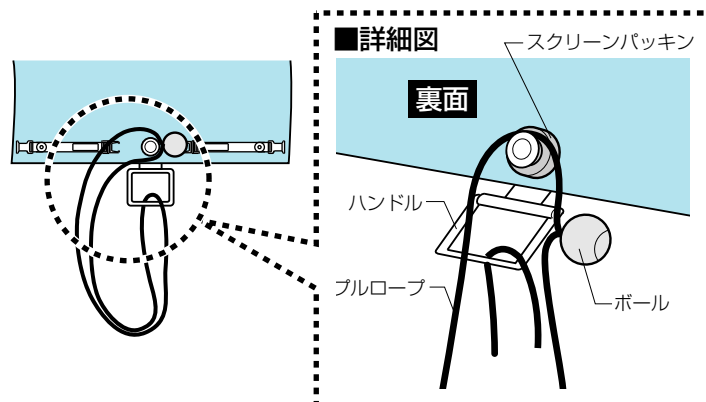
①プルロープを、お好みの長さにカットし、ハンドル、ボールに通して結びます。



②固定するときは、プルロープをフック金具に引っ掛け、固定します。



③収納するときは、スクリーンパッキンに引っ掛け、収納します。



※開口部の下にフックする場合は、プルロープは使用しないでください。

お手入れ方法

1

商品の点検

- 定期的（年一回程度）に、ねじ・ボルト類の緩みを点検し締直してください。締直してもガタツク場合は腐食のおそれがありますので、お買い求めの工務店・販売店又はトステム（株）営業所へご連絡ください。

2

商品のお手入れ

■アルミ製品

- アルミは比較的腐食しにくい材質ですが、砂・ホコリ・塩分などが付いたまま長い間放置しておくと、空気中の湿気や雨水の影響を受け、腐食の原因になります。お手入れはなるべくこまめにしてください。

〈お手入れ回数の最低限の目安〉

※長期間、清掃しないままにしておきますと、表面に付着した汚れは、しみや腐食の原因となります。汚れが軽いうちに清掃してください。清掃の目安は、少なくとも年に2～3回程度です。

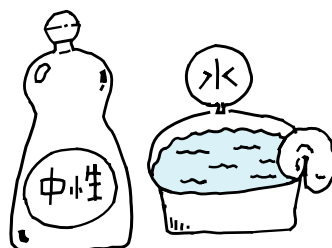
特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

【汚れが軽い場合】

- 水でぬらしたぞうきんで汚れをふき取り、からぶきします。

【汚れがひどい場合】

- ① 水でぬらしたぞうきんで全体についたホコリ・砂などをふき取ります。
- ② うすめた中性洗剤でひどい汚れを落とし、洗剤が残らないようによくふき取ります。
- ③ 全体をからぶきします。



■雨どい

- 落ち葉などで雨どいがつまることがありますので時々取除いてください。

■スクリーン

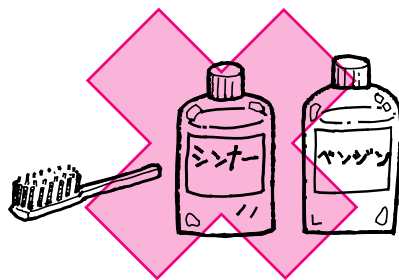
- 古くなったスクリーンは、早めに交換してください。強風・衝撃で破損しやすくなります。美観の観点から、3～5年を目安に（保証値ではありません）交換することをお勧めします。

■駆動機

- モーター・手動ギアは消耗品です。
モーターは5000回開閉程度、手動ギアは3000回開閉程度を目安に交換することをお勧めします。
（数値は保証値ではありません。）（数字は保証値ではありません。）

■お手入れ時のお願い

- 洗剤は必ず中性洗剤をご使用ください。酸性・アルカリ性・塩素系薬品・ベンジン・シンナー・トルエンなどの有機溶剤および有機溶剤入り洗剤などはアルミ型材・ステンレス部品の腐食や塗膜はがれ、スクリーンの変色・色あせを引き起こしますので絶対に使用しないでください。誤って使用した場合は、すぐに大量の水で薬品をよく洗い流してください。
- アルミをお手入れする場合、金属製ブラシ・金ペラなどは使用しないでください。
- スクリーンをお手入れする場合はぬらしたスポンジでふいてください。中性洗剤を使用した場合は洗剤が残らないようにふき取ってください。（タワシなどの硬い物ではこすらないでください。表面の樹脂加工はがれてしまいます。）



商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間・保証内容の範囲において無料修理をお約束するものです。

保証期間中、商品に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は、当社商品相談窓口にご相談ください。

- 保証者…………… トステム株式会社
- 保証の対象…………… 住宅の所有者
- 対象商品…………… トステムブランドで販売している一般住宅用商品およびエクステリア商品
- 保証内容…………… 通常の取扱いによって生じた品質不良・性能および機能の低下によるもので、かつ当社が認定した不具合。
- 保証期間…………… 当該商品の取付け完了後2年間。（電装部品については1年間）
ただし、完了時期については所有者が立証責任を負う。
- 品質保証の免責事項…………… 原因が次のような場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
 - イ) 環境が特に悪い地域の場所に取付けられた不具合。
（例えば塩害や大気中の砂塵や煤煙・各種金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガスなどの反応物質が付着して起こる腐食・高温・低温・多湿による損傷や故障）
 - ロ) 保証者の表示した取扱いから逸脱した不具合。
 - ①モルタル（アルミに接触する部分）に海砂を使用
 - ②モルタル（アルミに接触する部分）に急結剤を使用
 - ③塩分などを含んだ木材を使用
 - ④施工指示通りに施工がされていない（シーリングなど）
 - ⑤中性洗剤以外のクリーニング剤を使用
 - ハ) 使用者もしくは第三者の誤り、又は不当な修理や改造による不具合。
 - ニ) 保証者が表示した以上の性能を必要とする個所に取付けられたため発生した不具合。
※各種性能については、本書の「風に対する仕様」・「積雪に対する仕様」に記載されています。
 - ホ) 不可抗力（天災・地変・地盤沈下・火災・爆発・騒乱・落雷・異常電圧など）により発生した不具合。
 - ヘ) 建具構成材であっても当社供給範囲外の不具合（ガラスなど）。
 - ト) 一般住宅用とは認められない使用目的に使用された不具合。

※保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は、当社商品相談窓口にお問合わせください。

A full page of blank graph paper. The grid consists of small squares formed by solid black lines. There are 20 columns and 20 rows of these small squares, creating a total area of 400 small squares. The grid is centered on the page with a narrow margin around the edges.

MAG-858A
ZJ79
2004年7月1日発行



トステム株式会社
本社 〒136-8535東京都江東区大島 2-1-1